

都市再生整備計画 事後評価シート
城下町周辺地区

令和7年3月

千葉県佐倉市

様式２－１ 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県	市町村名	佐倉市	地区名	城下町周辺地区			面積		283.7				
交付期間	R2～R5	事後評価実施時期	令和6年度	交付対象事業費	2898.9百万円	国費率	33.14%							
１）事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名												
		基幹事業	佐倉城址公園整備、複合施設（センター施設部分）建設、市道I-24号線整備、旧佐倉図書館跡地駐車場整備、多言語案内看板整備、市道1-27号線外4路線舗装美装化											
		提案事業	複合施設（図書館部分）建設、拠点内循環バス運行社会実験											
	当初計画から削除した事業	事業名				削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		基幹事業	—				—			—				
		提案事業	—				—			—				
	新たに追加した事業	基幹事業	—				—			—				
		提案事業	—				—			—				
交付期間の変更	当初	—		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—								
	変更	—												
２）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	図書館の利用者数	人	42,500	H29	47,000	R6	—	60,180	○	あり なし	— —	複合施設として整備したこと、駐車場の利便性が向上したことから、目標値を上回る値となり、まちの賑わいが向上し、十分な事業効果が生じていると考える。	（案）作成R7.6月（基準日R7.3.31） R7.10フォローアップ公表
	指標2	子育て世代活動支援センター利用者数	人	—	—	21,000	R6	—	21,892	○	あり なし	— —	目標値を上回る値となり、図書館に併設された複合施設の中で、子育て世代の交流の場や相談事業、託児など、地域の交流拠点として機能していると考えられる。	（案）作成R7.6月（基準日R7.3.31） R7.10フォローアップ公表
	指標3	地域交流センターを利用するイベントの開催数	回	13	R2	25	R6	—	25	○	あり なし	— —	複合施設として整備したこと、駐車場の利便性が向上したことから、目標値を達成でき、地域の交流拠点として機能していると考えられる。	（案）作成R7.6月（基準日R7.3.31） R7.10フォローアップ公表
	指標4	武家屋敷来訪者数	人	19,500	H30	22,500	R6	—	23,874	○	あり なし	— —	回遊性を高める路面美装化により、来訪者の武家屋敷への誘導性及び安全性が向上したことから、目標値を達成でき、まちの賑わいが向上し、十分な事業効果が生じていると考える。	（案）作成R7.6月（基準日R7.3.31） R7.10フォローアップ公表
	指標5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	あり なし	— —	—	—
３）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	—	—	—	—			—	—			—	—	
	その他の数値指標2	—	—	—	—			—	—			—	—	
その他の数値指標3	—	—	—	—			—	—			—	—		
４）定性的な効果発現状況	・旧図書館に比べ自習スペースなど滞在型の利用が伸び、施設が活用されている。 ・旧図書館に比べ高校生など若い世代の利用が伸び、施設が活用されている。 ・子育て交流センターについて、図書館に併設された複合施設の中で、子育て世代の交流の場や相談事業、託児などを行うことで、新しい利用者の増加につながっている。													
５）実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング	—				都市再生整備計画に記載し、実施できた					—	—		
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					—			
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					—			
	官民連携による取組	計画期間中の合意形成を図るため、基本計画段階、設計段階においてワークショップ等を開催した。				都市再生整備計画に記載し、実施できた					●	ワークショップの結果等による整備コンセプトを生かし、引き続き地域の活性化に寄与する施設運営を行う。		
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					—			
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					—			
持続的なまちづくり体制の構築	令和5年度に佐倉城下町商店会及び金毘羅緑日ふれあい市実行委員会と新町地区の活性化に関する覚書を締結し、夢咲くら館の敷地を利用した金毘羅緑日ふれあいマーケットなどを実施することにより、にぎわいを創出することとした。				都市再生整備計画に記載し、実施できた					●	覚書を締結した地域組織をはじめとする各種団体とのつながりを生かし、これまでの民間の取組を更に加速させるとともに、公と民が共に連携しながら、住民が日常的に生き生きと暮らし、市内外からも気軽に、繰り返し訪れ、楽しめる場所を目指す。			
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					—				
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					—				

様式 2-2 地区の概要

城下町周辺地区（千葉県佐倉市） 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
（大目標）地域の多様な関係者の参画のもと、複合施設の整備による都市機能の集約・コンパクト化や、あらゆる世代に快適な環境を整備することなどによって、地域住民の生活の質を向上させ、賑わいの創出による地域経済の活性化を図り、【持続可能な都市】を目指す。 （目標1）都市機能のコンパクト化や、バリアフリー化、交通結節点の改善、災害対応機能の向上を図ることにより、高齢者や子育て世代といった【誰にでも安心して快適に生活できる都市】を目指す。 （目標2）既存の歴史資源や観光資源の維持・有効活用を図り、【魅力ある美しい都市】を目指す。 （目標3）都市機能のコンパクト化、バリアフリー化、交通結節点の改善、既存の歴史資源や観光資源の有効活用によって、交流人口の増加を図り地域経済を活性化させ、スポンジ化の解消を図るなど、【賑わいのある都市】を目指す。		図書館の利用者数	単位：人	42,500	H29	47,000	R6	60,180	R6
		子育て世代活動支援センター利用者数	単位：人	-	-	21,000	R6	21,892	R6
		地域交流センターを利用するイベントの開催数	単位：回	13	R2	25	R6	25	R6
		武家屋敷来訪者数	単位：人	19,500	H30	22,500	R6	23,874	R6



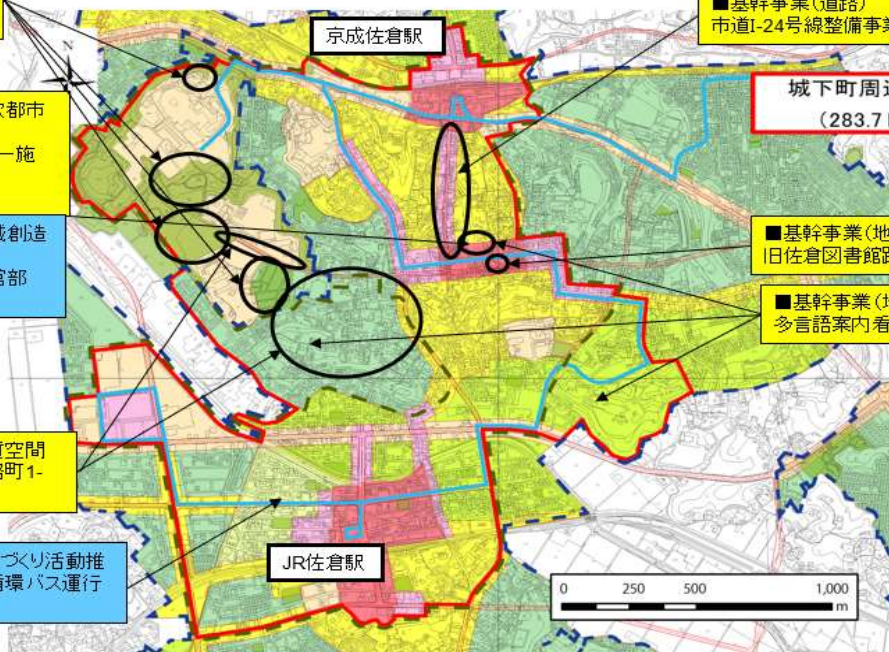
■基幹事業(高次都市施設)
複合施設(センター施設部分)建設

□提案事業(地域創造支援事業)
複合施設(図書館部分)建設



■基幹事業(高質空間形成施設)宮小路町1-27号線外4路線

□提案事業(まちづくり活動推進事業)拠点内循環バス運行社会実験事業



■基幹事業(公園)
佐倉城址公園拡張整備事業

■基幹事業(道路)
市道1-24号線整備事業

城下町周辺地区
(283.7 ha)

■基幹事業(地域生活基盤施設)
旧佐倉図書館跡地駐車場整備事業

■基幹事業(地域生活基盤施設)
多言語案内看板整備事業

凡 例

- 基幹事業
- 提案事業
- 都市再生整備計画の区域
- - 居住誘導区域
- - 都市機能誘導区域
- バス



【誰にでも安心して快適に生活できる都市】の形成に向けて、複合施設(子育て世代活動支援センター、地域交流センター、観光交流センター、図書館)の整備による都市機能のコンパクト化や、歩道のフラット化といったバリアフリー化、循環バス運行の社会実験による交通結節点の改善、佐倉城址公園拡張区域の整備による災害対応機能の向上を図ることができた。

【魅力ある美しい都市】の形成に向けて、武家屋敷周辺の舗装美化や、城下町周辺の風情を感じさせる多言語案内看板の設置、佐倉城址公園拡張区域の整備により、既存の歴史資源や観光資源の維持・有効活用を図ることができた。

【賑わいのある都市】の形成に向けて、都市機能のコンパクト化、バリアフリー化、交通結節点の改善、既存の歴史資源や観光資源の維持・有効活用の実施に加え、既存の組織を活用した多様な関係者の連携強化や、空き店舗出店促進事業を実施することにより、交流人口の増加やスポンジ化の解消を図ることができた。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・佐倉市観光グランドデザイン「観光Wコア構想」に基づき、印旛沼周辺地区との連携を図り、来訪者数の増加につなげる。
- ・整備した施設について、地域住民等の利用を促進する取組を行うとともに、効率的な維持管理を行う。
- ・覚書を締結した地域組織をはじめとする各種団体とのつながりを生かし、これまでの民間の取組を更に加速させる。
- ・エリア全体で子育て世代が集まる環境を整えていく。
- ・古民家の活用や空き店舗に出店してもらえるような仕組みや環境を整えていく。
- ・利用者向けの駐車場案内を充実させる。
- ・拠点内循環バスの利用率を向上させ、更なる回遊性の向上を図る。
- ・エリア内の道路改修を行い、更なる安全性と回遊性の向上を図る。